申請者の現状（基本情報）　（別紙1）

作成日	令和8年〇月〇日	相談支援事業者名	相談室〇〇	計画作成担当者	〇〇〇〇

1．概要（支援経過・現状と課題等）

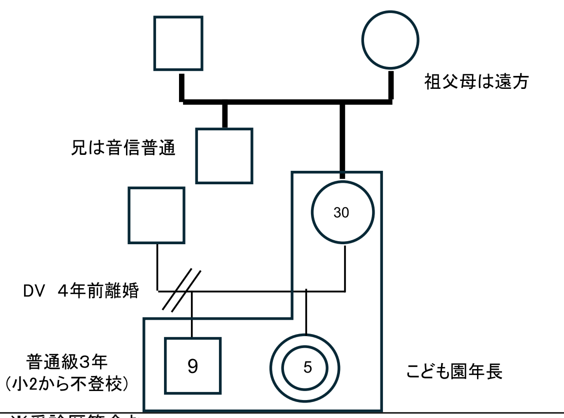
1歳時、父による母へのDVから逃れるために札幌市に転居し、その後、両親は離婚したため、母、兄、本人の母子世帯である。
母は、医療機関でうつ病、パニック障がいの診断を受け、現在、メンタルクリニックに通院しながら、育児を行っている。また、転居以降、生活保護の受給を開始し、〇区役所のケースワーカー、〇保健センターの保健師がかかわっている。
Aについて、乳児期は手がかからず、愛想もよく、どちらかというと育てやすい子どもだった。しかし、指差しがない、親の手を引いて連れていく、人への興味が少ない等、気になる様子があった。2歳頃から言葉を話すようになったが、かんしゃくを起こす、壁に頭を打ち付ける等の行動が現れ、母は育てにくさを感じるようになった。また、こども園入園後、先生から「友達とうまく遊べていない」と報告を受けることもあった。
年長になると、他児とのトラブルが増えたほか、発表会や運動会で他児と同じことができない様子が目立ち始めた。母は、小学校入学後のことを心配し、ちくたくの発達相談を受けたところ、こども園と児童発達支援の併用利用を勧められたことから、相談室の利用に至った。
母の実家は道外にあり、祖父母との関係は悪い。近隣に養育を頼れる親族や友人もいないものの、クリニックの医師やソーシャルワーカーが話しやすく、困ったときには相談できる。また、母の状態が悪くなったとき（Aの3歳時）、児童養護施設のショートステイを利用したことがある。
兄も苦手なことが多いようで、学校の勉強についていけず、小学2年の2学期から不登校になっている。母は、状態により家事に手が回らないこともあるようだが、「子どもたちをしっかり育てたい」、「Aも兄もトラブルなく、元気にこども園や学校に通ってほしい」と話している。

2．利用者の状況

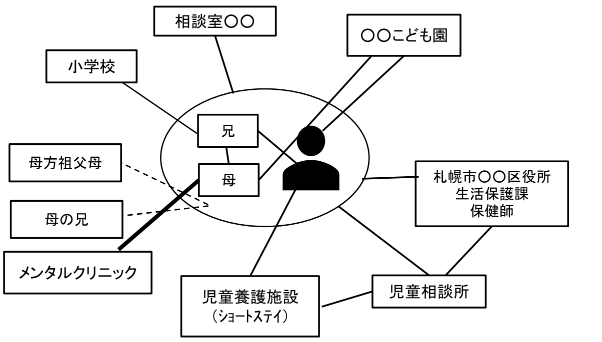
氏　名	児童A	性別	女	生年月日	令和〇年〇月〇日	年齢	5歳	電話又はFAX番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
住　所	札幌市〇〇区			持家・借家・グループホーム・入所施設・医療機関・その他（　　　）					

障害または疾患名	なし	障害者手帳（種別・等級）	なし	援護地		障害支援区分	
経済状況	（収入）生活保護受給	（年金）		（手当）児童扶養手当			
保護者または緊急連絡先	（氏名）児童A母	（続柄）母		（電話番号）〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇			

家族構成　※年齢、職業、主たる介護者等を記入



社会関係図 ※本人と関わりを持つ機関・人物等（役割）



生活歴　※受診歴等含む

【周産期】39週　通常分娩で出産。体重3100g
【発達歴】乳児健診では指摘なし、人見知りはあったが時期不明、発語2歳
【生活歴】0歳　Q市で出生
1歳　父による母へのDVから逃れるため、母、兄及びAが札幌市へ避難（転入）
2歳　こども園の利用を開始
3歳　母の体調不良時、児童養護施設のショートステイを利用する
健診で発達相談を勧められたが、相談には至らない
5歳　ちくたくにて発達相談を受ける
児童発達支援事業所の利用に向けて、相談室の利用を開始

医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等

受診はしていない。

健康保険（　　　　　　　　　　）

本人の主訴（意向・希望）

（本人の言葉や行動、母からの聞き取り含めて相談員が推測）
・お母さんが好き、でも怒られるのは嫌。
・友達ともっと話したり、たくさん遊びたい。
・先生やお友達にいろいろ言われることがあるけど、よくわからない。

家族の主訴（意向・希望）

・思い通りにならないとかんしゃくを起こす。叱っても言うことを聞いてくれない。どうしたらよいのかわからない。私のせいかな。
・こども園でも小学校に入学してからも友達と仲良くかかわってほしい。
・子育てをもっとがんばらないといけないけど…。

3．支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考（担当者・連絡先）
公的支援（障がい福祉サービス等）	保育、幼児教育	〇〇こども園	教育、保育の提供	週5回	
	相談支援事業	相談支援専門員	利用計画作成、モニタリング、事業所調整	随時	
	子育ての相談	児童相談所、区の保健師	子育てに困ったときの相談先	随時	
	ショートステイ	児童養護施設	母が体調不良等の際の預け先	必要時	3歳の時に1度利用した
その他の支援	生活保護	〇区保護課担当	生活保護の支給、自立支援	月1回	

申請者の現状（基本情報）【現在の生活】　（別紙2）

◎週間計画表

	月	火	水	木	金	土	日
4:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
5:00							
6:00							
7:00	起床	起床	起床	起床	起床		
8:00	朝食・着替え	朝食・着替え	朝食・着替え	朝食・着替え	朝食・着替え	起床	起床
9:00	こども園	こども園	こども園	こども園	こども園	朝食・着替え	朝食・着替え
10:00						余暇	余暇
11:00							
12:00						昼食	昼食
13:00						余暇	余暇
14:00							
15:00							
16:00							
17:00	余暇	余暇	余暇	余暇	余暇		
18:00							
19:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
20:00	余暇	余暇	入浴・余暇	余暇	余暇	入浴・余暇	余暇
21:00							
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝		
23:00						就寝	就寝
0:00							
1:00							
2:00							
3:00							
4:00							

主な日常生活上の行動

・余暇はテレビ鑑賞やゲームをして過ごす。

・食事は好き嫌いがあるがおおむね完食。食事中の立ち歩きあり。

・こども園では友達とかかわりたいようだが、トラブルになることも多い。手が出てしまうこともある。

週単位以外のサービス

ADL等　基本情報シート

氏名　児童A（5歳）

日常生活	食事	箸を使用し、介助不要。 食事中に立ち歩くことがある。 好き嫌いはあるが、促されると食べる。 ピーマンなどの緑の野菜は苦手。
	排泄	おおむね自立。
	身の回り	少し雑な面もあるが、おおむね自立。 入浴は週2、3回程度、母が洗っている。 ボタンかけで手間取ることはある。 シャツの裾をズボンに入れるこだわりがある。 服の素材により、嫌がることがある。
発達	運動機能	【粗大運動】 走る、飛ぶ等は得意だが、他の要素が加わるとうまくできない（協調運動が苦手）。 姿勢の保持が難しい。
		【微細運動】 ブロックや折り紙など、細かい作業を好む。
	知能	【記憶、理解】 数字、記号等の記憶は得意。CMやアニメの一場面を繰り返し見て、セリフを丸覚えする。 抽象的な指示の理解は難しいが、端的に視覚手がかりを用いたり、やり方を見せると理解しやすく、そのとおりに覚える。
		【話す、読み書き】 ひらがな、カタカナは理解しており、漢字も自分の名前やよく見るものは一部理解している。 ひらがなは上手ではないが書くことも可能。
	社会性	【コミュニケーション】 3語文で話す。発音は若干不明瞭。語彙は興味のある事柄はよく知っている。 会話は一部成立。マイペースに話し、内容がかみ合わないことも多い。思ったことを口にする。
		【対人関係】 やりとりは幼く、自分本位になりがち。友達と関わりたいが、意が通らないと暴言のほか、たたくこともある。 暗黙の了解はわからない。
		【集団生活、ルール、マナーなど】 視覚化された繰り返されるルールなどは分かる。 目につくものがあるとパッと動く。 気持ちの切り替えが難しい。 道順や物の置き方へのこだわりあり。 タイヤやひもをくるくる回して遊ぶことを好む。

健康管理	服薬	なし
	視力・聴力	なし
	睡眠状況	就寝時間は少し遅め。 中途覚醒なく、朝までぐっすりと眠る。 朝起きられないことがある。
	アレルギー	なし
	補装具・自助具	なし

発達や学力の検査結果等	令和8年〇月 発達相談にて心理士実施 検査名：田中ビネー知能検査Ⅴ 生活年齢5歳7か月 精神年齢4歳9か月　知能指数 IQ＝85
IADL	【電話、買い物、調理、金銭管理、洗濯、掃除、交通手段の利用など】 大人と一緒であれば、電話で話すこと、服をたたむこと、自動販売機でジュースを買うこと等が可能。 言葉がけがあれば、おもちゃや食器を片づけることが可能。
家族	【母】 幼少期の家庭環境が良くなかったことや、元夫からのDV被害の影響により、パワーレスな様子。理解力や社会性の乏しさ、親族のサポートもないことから、周囲からの理解やサポートを必要としている。 うつ病とパニック障がいの治療のため、精神科のクリニックを月1回受診、投薬あり。関係は良好。 Aや兄の状況について、「私のせい」、「もっと頑張らないといけない」と思っている様子。 【兄】 小3。発達や学習の遅れあり。 小2の2学期から不登校。

＜児童発達支援事業所見学時の様子＞

【Aさんの様子】

・初めての場所でも不安がらずに、ニコニコして、目に映った様々なおもちゃを広げて並べたり、回して遊ぶ。おもちゃを雑に扱い、力の加減が難しい。
・「何して遊ぶのが好き？」と聞くと、ゲームの話をマイペースにたくさん話す。
・遠くから言葉掛けしても指示を理解していないのか、行動に移せないものの、近くで具体的に話しかけると理解して応じる。
・大人が使っているものに興味を持つと、パッと触って断りもなく持っていこうとする。

【母の様子】

・Aさんの様子を見ているものの、声掛けや一緒に遊ぶことはなく、見守っている。
・Aさんが唐突に駆けだしたり、他児が持っている物を取ろうとした時に、慌てて静止したり、叱るような声かけをするが、Aさんには届いていない様子。
・事業所の内容を説明すると、「はいはい」とうなずくが、理解の程度は不明。パンフレットを見せながら要点をかいつまんで説明すると、伝わりやすい印象がある。
・家庭でのAさんの様子を聞くが、話し言葉がまとまらないことや、聞いている質問と違う答えが返ってくることもある。自信がなさそうな表情で話す。

【保健師からの引き継ぎ事項】

・札幌へ転入時、転入前の市から家族への見守りの必要性や母親の育児能力の乏しさについて引継ぎがあり、関係機関が連携して、見守りをしていた。
・3歳児健診でやりとりの一方的な様子、言葉のバランスの悪さ、待っているときの他の子どもへのかかわり方や親子のやり取りの様子などから、保健師が発達支援の活用が必要と感じ、母に相談を勧めたところ、母は「いろいろとできるし大丈夫」とのことでつながらなかった。
・健診の数か月後、近所から「親子の言い合う大声が聞こえる」との虐待通告があり、児童相談所が介入。転入時に関係機関の関与もあったことから、虐待通告をきっかけに要保護児童対策地域協議会ケースとして、関係機関が会議を行っている。
・虐待通告を機に、児童相談所が母の体調面を考慮したレスパイトを目的として、児童養護施設のショートステイを利用し、兄を含めて生活面全般の行動観察を行った。Aさんは事情が分からずショートステイ時もマイペースに過ごしていたが、兄は抵抗感が強く、分離不安が高まる様子があった。
・今回、相談支援事業所、児童発達支援につながったので、今後は要保護児童対策地域協議会の会議に参加要請がある。
・母は、食事や洗濯、片付け等、最低限の家事を頑張っているものの、体調不良時に滞ることもある。特に入浴については、Aさんも兄も嫌がる傾向があり、現状、週2回が限界の様子。
・子ども想いで、どうにか子どものためにやってあげたいものの、気分によって甘えさせたり叱責することがあり、一貫した育児や関わりは難しい。
・兄は発語の遅れ等あり理解度は幼く、対人交流は苦手。小学校に上がるが学習はあまりついていけず、2年生の2学期から不登校。学校とやり取りしながら、兄の学習支援や発達支援の必要性も感じているが、医療機関の受診は母親の気持ちが向かない様子。関係機関の心配はあるものの、兄へのサポートは進んでいない。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画（計画様式２－１）

作成日	令和〇年〇月〇日	利用者同意署名欄	〇〇〇〇

利用者氏名	児童A　様	障害支援区分		利用者負担上限額	円	相談支援事業者名	相談室〇〇		
受給者番号	〇〇〇〇〇					計画作成担当者名	〇〇〇〇	電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

◎サービス担当者会議（会議を開催していない場合は、専門的意見を聴取した事業者名称と担当者名を記入します）

会議実施日	令和〇年〇月〇日

会議出席者							
会議出席者	事業者等名称		〇〇こども園	児童発達支援事業所〇〇	児童相談所	〇区保健師	〇区生活保護課
	担当者名	母	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

◎生活に対する意向、援助方針

利用者及びその家族の生活に対する意向	（Aさん）・お母さんに怒られるのがいやだ。友達ともっと話したり、たくさん遊びたい。 ・先生や友達にいろいろ言われることがあるけど、よくわからない。 （保護者）・思い通りにならないと怒ってかんしゃくを起こすときにどうしたら良いのかわからない。その対応を知りたい。 ・こども園でも小学校に行ってからも友達と仲良く関わってほしい。 ・もっと育児をがんばらないといけないと思う。
総合的な援助の方針	Aさんの発達の特徴や強み、好みを把握しながら、集団で好きな遊びや活動を通じて、コミュニケーションや対人スキルを高めることができるよう支援体制を整えます。 こども園や児童発達支援事業所と家庭との連携を深めることで、親子で穏やかに過ごすことができる環境を整えます。 お母さんの子育てへの負担感やプレッシャーが強くなりすぎないよう関係機関がお手伝いします。
長期目標	（Aさん）・意思や気持ちを伝えたいとき、困ったときに、大人や友達に言葉で伝えられるようになる。 （保護者）・Aさんの行動の意味を理解し、お母さんが過度の負担を感じずに過ごすことができるようになる。 ・子育てを一人で抱えずに、こども園や児童発達支援事業所、その他の支援機関を必要な時にうまく活用する。
短期目標	（Aさん）・興味のある活動を通じて友達とやりとりを楽しむ経験を積む。 ・わからないことを大人に伝えられるようになる。 （保護者）・Aさんが何に困っているのか、何を求めているのかわかるようになる。

◎モニタリング予定月

支給期間	令和　年　月　日　～　令和　年　月　日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和　年度												
令和　年度												
令和　年度												
令和　年度												

区保健福祉部受理日	令和　年　月　日	福祉支援 保健支援　担当者	

サービス等利用計画・障害児支援利用計画（計画様式２－２）

◎解決すべき課題、提供される福祉サービス等の目標及びその達成時期など

優先順位	解決すべき課題・本人のニーズ	支援目標	達成時期	福祉サービス等の種類、内容、量	提供事業者名（担当者名・電話）	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	（Aさん） 友達ともっと話したり、たくさん遊びたい。 （保護者） 友達と仲良く関わってほしい。	集団で好きな遊びや得意なことを通じて、友達と楽しく過ごす経験を積み、自分の気持ちや困ったことを周りの人にことばで伝えられるように働きかけます。	6か月	〇教育・保育機関 ・こども園（5／週） 　集団でのやりとりや意思伝達、社会的ルールなどの社会性向上 〇福祉サービス ・児童発達支援事業所（14日／月） 　個別や小集団における活動 ・ショートステイ（随時） 　ご家族の体調不良や休息が必要な時、児童養護施設を活用。 〇相談支援事業（随時） 　困りごとを聞きとり、情報提供をする。関係機関との連携をはかる。 ※来年度の小学校入学、兄の不登校について、必要に応じて小学校との連携も進める。	〇こども園 担当：〇〇〇〇 連絡先：〇〇〇〇 児童発達支援事業所〇〇 担当：〇〇〇〇 連絡先：〇〇〇〇 児童擁護施設〇〇 担当：〇〇〇〇 連絡先：〇〇〇〇 児童相談所 担当：〇〇〇〇 連絡先：〇〇〇〇 〇区保護課 担当：〇〇〇〇 連絡先：〇〇〇〇 相談室〇 担当：〇〇〇〇 連絡先：〇〇〇〇	（Aさんの役割） 今までどおりにのびのびと元気に活動しましょう。 こども園、新しく通う児童発達支援も休まず行きましょう。友達や先生と楽しい活動をして、たくさんの「できた」と感じる経験を増やしたいと思うので、気持ちを教えてください。 （保護者の役割） Aさんのことでわからないことは、遠慮せずに聞いてください。 また、お母さん自身のことやお兄さんのことなど、気になることや不安なことなどがあれば、周囲の支援者に伝えてもらえるとありがたいです。 お母さんの体調のためにも無理はせず、頑張りすぎないようにしましょう。	6か月	・こども園の大集団では学べないこともありましたが、伸びしろがたくさんあります。Aさんの遊びたい、やりたい意欲をいかして、小集団でじっくりと学ぶことでコミュニケーションスキルや関係づくりの力を伸ばせると思います。 ・お母さんは今でも十分に子育てを頑張っていますが、まだまだ頑張りたい焦りもあるため、無理をしてしまうかもしれません。 また、困っていても相談することやわからないことを伝えるのは得意ではないので、SOSを出しやすい工夫や配慮をしてもらえると助かります。
2	（Aさん） お母さんに怒られるのがいやだ。 （保護者） かんしゃくを起こすときにどうしたら良いのかわからない。その対応を知りたい。	Aさんが何に困っているのか、どのような手助けをしたらわかりやすいか、家庭と連携しながら本人理解の土台を育みます。						
3	（保護者） もっと育児をがんばらないといけないと思うけれど、自信がない。 来年から小学校に行くことになるが、不安だ。	お母さんがささいなことでも相談できるような良好な関係を保ちます。 また、必要に応じてAさんを理解するための情報を提供します。						

サービス等利用計画・障害児支援利用計画（計画様式２－３）

◎週間計画表

	月	火	水	木	金	土	日
4:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
5:00							
6:00							
7:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	
8:00	朝食・着替え	朝食・着替え	朝食・着替え	朝食・着替え	朝食・着替え	朝食・着替え	起床
9:00	こども園	こども園	こども園	こども園	こども園	送迎	朝食・着替え
10:00						児童発達支援事業所	余暇
11:00							
12:00							昼食
13:00		送迎		送迎			余暇
14:00		児童発達支援事業所		児童発達支援事業所			
15:00							
16:00						余暇	
17:00	余暇	余暇	余暇	余暇	余暇		
18:00							
19:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
20:00	余暇	入浴・余暇	余暇	入浴・余暇	余暇	入浴・余暇	入浴・余暇
21:00							
22:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝		
23:00						就寝	就寝
0:00							
1:00							
2:00							
3:00							
4:00							

主な日常生活上の行動

・平日は往路のみ送迎を利用、復路は母による迎えが可能。

・土曜日は保護者のレスパイトと生活リズムの保持の目的もあり、長時間の利用を希望（送迎についてはまずは母にお願いして、負担になりそうなら送迎を利用する）。

週単位以外のサービス

母の体調が良いときには、公園などに遊びに行く。

サービス提供によって実現する生活の全体像	大集団で多様な経験をするこども園、発達課題に応じたきめ細かな学びを経験する児童発達支援の利用により、Aさんが持つ力、それぞれの力を発揮して、コミュニケーション力や社会性を伸ばすことできる。 保護者は、家で穏やかに過ごすための方法やAさんのことをよく理解するほか、子育ての不安を伝えられるサポーターが増える。 土曜の利用により、週末の生活リズムを保つとともに、母のレスパイト効果も期待でき、Aさんの健やかな育ちをチームで応援する体制が整う。